

工学系研究科専攻横断型教育プログラム
「機械システム・イノベーション」(GMSI)

工学リテラシーII -事業戦略と知的財産- (3799-150 : 1 単位)
修士・博士対象

概要：

高い専門性は持ちつつ、リーダーシップ、課題設定・解決・遂行力、責任感・使命感、高いコミュニケーション能力、情報・倫理等に優れた能力を涵養し、複合領域で柔軟な応用力を持つことを目指した専攻横断型教育プログラムの一環として実施する。イノベーション、技術マネジメント、リーダーシップ、事業戦略、知的財産管理、倫理などをキーワードとし、産業界等の第一線でご活躍されている講師を招へいし講演いただく。

講義スケジュール： 14:50-16:30 場所：工学部 2 号館 223 号講義室

日時	講師	講義内容
10月2日(木)	横野 泰之 東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授	ガイダンス
10月9日(木)	斉藤 史郎 株式会社東芝 執行役常務 研究開発センター所長	企業における研究開発
10月16日(木)	鳥越 邦和 ダイキン工業株式会社 顧問	グローバル化と事業戦略
10月23日(木)	荒堀 淳一 富士通株式会社 法務本部ビジネス法務部部長	企業活動における法務
10月30日(木)	小林 美和 ボーイング ジャパン株式会社 政府関連・渉外担当ディレクター	グローバルビジネスと人材育成
11月20日(木)	伊関 克彦 東レ株式会社 常任理事 基礎研究センター医薬研究所所長	企業における研究開発と事業戦略
12月4日(木)	内田 史彦 筑波大学 国際産学連携本部 教授	国際産学連携とグローバル人材
12月11日(木)	入夏 仁美 東日本旅客鉄道株式会社 総合企画本部 技術企画部担当部長兼知的財産センター所長	鉄道の技術イノベーション

受講登録：

受講希望者は下記宛てに受講申し込みのこと。

講師や開催日時の変更を行う場合があります。HP をご確認ください。

東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻

GMSI プログラム事務局

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

工学部 2 号館 2 階 203 号室

Tel/Fax 03-5841-0696 (内線 20696)

E-mail : gmsi-office@pcil.t.u-tokyo.ac.jp

URL : <http://gmsi.t.u-tokyo.ac.jp/>

第68回実践リーダーレクチャー

(株)東芝 研究開発センターにおける研究開発マネジメントの紹介
Introduction to R&D management of Toshiba Corporate R&D Center

斉藤 史郎

Shiro Saito

株式会社東芝 執行役常務 研究開発センター所長

Executive Officer, Corporate Vice President, Director, Corporate Research & Development Center
Toshiba Corporation

日時: 2014年10月9日(木) 14:50-16:30

会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室

授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要:

東芝研究開発センターは、東芝グループ全般にわたる新規事業および基盤技術の研究開発に中長期的な視点で取り組むことをミッションとし、情報通信プラットフォーム、ヒューマン・インターフェース、LSI・ストレージ、ナノ材料・デバイス、機械・システムなど幅広い研究領域を有している。

本講演では、東芝の目指す姿やそれを実現するための研究開発方針および研究開発マネジメントを実例とともに紹介する。

特に、テーマアップ支援、ファンディング制度、人材育成などイノベーションの創出を支える仕組みや研究テーマ管理手法について解説する。

さらに知的財産保護や情報セキュリティなど、企業の社会的責任に対する取り組みについても紹介する。



主催: 東京大学大学院工学系研究科「機械システム・イノベーション」プログラム
東京大学 実践型リーダー養成事業「イノベーションリーダー養成演習」(PCIL)
東京大学 社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム(GSDM)
本件連絡先: 東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授 横野 泰之
GMSIプログラム事務局 E-mail: gmsi-office@pcil.t.u-tokyo.ac.jp Phone: 03-5841-0696

第69回実践リーダーレクチャー

グローバル時代における事業の成長戦略
Strategy for sustainable growth of our company's
business in the global

鳥越 邦和

Kunikazu Torikoshi

ダイキン工業株式会社 顧問

Advisor, DAIKIN INDUSTRIES, LTD

日時: 2014年10月16日(木) 14:50-16:30
会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要:

日本経済が長期低迷が続いている状況下で多くの日本企業は事業の成長を図るためにグローバル市場に活路を求め、新たな価値創造による新規事業の創出にチャレンジするなど従来からの延長線上にない戦略の転換が求められている。

本講では当社の主力事業である空調事業を一つの事例として国内での市場の成熟度を背景に海外展開により事業拡大を成し遂げてきたかを紹介する。

さらに空調事業を取り巻く環境から直面している課題を取り上げて、グローバル化の時代に生き残るための技術開発の方向性を述べる。

そのための取り組みとして従来慣行にない「内部・外部協創」を積極的に推進・加速の場づくりとしての当社のテクノロジー・イノベーションセンターを紹介する。最後に競争力強化の要諦である人材について触れる。



第70回実践リーダーレクチャー

企業活動における法務
Legal Issues in Corporate Activities

荒堀 淳一

Junichi Arahori

富士通株式会社 法務・コンプライアンス部 部長
Director, Legal Division, Business Affairs, FUJITSU LIMITED日時: 2014年10月23日(木) 14:50-16:30
会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要:

経済・ビジネスは、ここ数年の情報技術の急速な発展によってますます複雑かつグローバルなものとなっています。たとえば、クラウドコンピューティングは当然のように国境を越えて運用されている一方で、これを身近に利用するユーザは越境を意図せず利用することが多いようです。また、いわゆるビッグデータは、従来の技術では収集できなかったタイプのデータを活用するケースですが、従来の伝統的な法律の見識を超えた新たな問題を提起しています。本セミナーでは、企業活動における法務業務の概観を確認しつつ、最近の国際化や技術革新がもたらしたビジネス変化への対応例をケーススタディとして検討し、さらには、リーダーたる研究者やビジネスパーソンにふさわしい法的リテラシーについて議論したいと思います。



第71回実践リーダーレクチャー

グローバルビジネスとリーダーの育成
Global business and leadership development

小林 美和

Miwa Kobayashi

Boeing Japan 株式会社 政府関係・渉外担当ディレクター
Director, Government & Corporate Affairs
Boeing Japan

日時: 2014年10月30日(木) 14:50-16:30
会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要:

世界における競争は、ますます激化している。企業は激しい競争環境にある世界市場で、生き残りをかけて闘っている。そこで求められるのは、グローバルで先見の思想をもつ人材である。ボーイング社のトップは「シンプルなことだ。素晴らしいリーダーは素晴らしい企業をつくるのだ」と言っている。

その「素晴らしいリーダー」とは？どのような能力をどのように開発・育成していけばいいのか？

ボーイング社が考えるリーダーとしての必要な条件、そのためのリーダーを育成するプログラム、人事評価などの取り組みを例として解説する。



第72回実践リーダーレクチャー

ビジネスの設計とプロダクトイノベーション
Business Design based on Product Innovation

吉積 敏昭

Toshiaki Yoshizumi

三菱電機株式会社 顧問／三菱総合研究所 客員研究員
Senior Corporate Adviser, Mitsubishi Electric Corporation/
Guest Consultant, Mitsubishi Research Institute日時： 2014年11月13日(木) 14:50-16:30
会場： 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目： 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要：

性能、品質、価格を強みとしてきた日本の製造業は、社会の価値観の多様化や市場ニーズの急速な変化の中で、事業の収益構造の再構築・強化を目指した「新たなビジネスの設計」という課題に直面している。

市場の環境は、「マス購買者」を対象とした「製品開発志向」の時代から、社会的課題の解決など、「意味的・精神的価値を重視する消費者」の時代へと急速に変貌している。また消費者の価値観は、対価を支払ってモノを所有する「交換価値」から、カーシェアリングやクラウドコンピューティングなど、使用の満足に対価を支払う「使用価値」へのパラダイムシフトが着実に進行しつつある。このような変化の中で、「革新的な製品やサービス」を核とする新たなビジネスを設計し『消費者が気付いていない“新たな顧客価値”を発見・創出・提供する』独創性の高いプロダクトイノベーションが事業の収益性向上や市場拡大のキーとなる。

この講義では、顧客価値のパラダイムシフトや製造業のビジネス設計の最近のトレンドを紹介し、それを支えるプロダクトイノベーションへの本質的アプローチ方法について考察する。更に事例を用いて全員で討議する。



主催： 東京大学大学院工学系研究科「機械システム・イノベーション」プログラム
東京大学 実践型リーダー養成事業「イノベーションリーダー養成演習」(PCIL)
東京大学 社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム(GSDM)

本件連絡先： 東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授 光石 衛
東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授 横野 泰之
GMSIプログラム事務局 E-mail: gmsi-office@pcil.t.u-tokyo.ac.jp Phone: 03-5841-0696

第73回実践リーダーレクチャー

新しい価値の創造
New Value Creation – Innovation by Chemistry -

伊関 克彦

Katsuhiko Iseki

東レ株式会社 常任理事(研究)、医薬研究所長、リサーチフェロー
Senior Director (Research),General Manager of Pharmaceutical Research Laboratories, Research Fellow
Toray Industries, Inc.日時: 2014年11月20日(木) 14:50-16:30
会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要:

東レ株式会社では「新しい価値の創造を通して社会に貢献」することを企業理念とし、化学の力に基づいた革新素材の提供を通して世の中をより良く変革させていくという意味で、「Innovation by Chemistry」をコーポレートスローガンに研究・開発を進めている。その最も大きな特長は、技術センターを中心とした事業毎には分断されていない研究・開発体制であり、総合化学企業であることの価値を最大限に高める戦略にある。また、これほどと思われる技術に対しては、継続して粘り強く取り組むことの重要性も実証してきた。

その体制、戦略、成果などを紹介しながら、企業研究・開発の在り方について議論していきたい。



主催: 東京大学大学院工学系研究科「機械システム・イノベーション」プログラム
東京大学 実践型リーダー養成事業「イノベーションリーダー養成演習」(PCIL)
東京大学 社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム(GSDM)

本件連絡先: 東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授 横野 泰之
GMSIプログラム事務局 E-mail: gmsi-office@pcil.t.u-tokyo.ac.jp Phone: 03-5841-0696

第74回実践リーダーレクチャー

イノベーションリーダー「新たな責任の時代」
In a new era of responsibility : Innovation leader

内田 史彦

Fumihiko Uchida

筑波大学教授、国際産学連携本部審議役

Professor, Deputy Director for International Innovation Interface Organization
University of Tsukuba

日時： 2014年12月4日(木) 14:50-16:30
会場： 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目： 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要：

地球環境問題や情報セキュリティの確保、グローバル化など新しい時代のパラダイムに対応できる技術者であるためには、作ったものに責任を持つことが、何よりも優先されるミッションとなってきている。イノベーションは、製品やサービスの形となって市場・経済社会に受け入れられてはじめて実現するものである。企業はグローバルな新市場に打って出て、現地で開発、設計、生産、販売、保守のバリューチェーンを構築し、顧客の課題を解決するイノベーション成長モデルを目指している。

このイノベーションプロセスを成功させるには、MarketからBusinessを発想し、必要なTechnologyに遡るM2B2T型が重要だ。蓄積したシーズからBusinessの引き取り手を探すT2B2M型は、イノベーション成功確率は低い。将来を拓く、M2B2T型のリーダ、技術者には高い倫理性が求められることを講義する。



主催： 東京大学大学院工学系研究科「機械システム・イノベーション」プログラム
東京大学 実践型リーダー養成事業「イノベーションリーダー養成演習」(PCIL)
東京大学 社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム(GSDM)
本件連絡先： 東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授 横野 泰之
GMSIプログラム事務局 E-mail: gmsi-office@pcil.t.u-tokyo.ac.jp Phone: 03-5841-0696

第75回実践リーダーレクチャー

JR東日本における技術革新への取り組みについて
Technology Strategy of JR-East

入夏 仁美

Hitomi Irinatsu

東日本旅客鉄道株式会社 技術企画部 知的財産センター 所長
General Manager,
East Japan Railway Company Intellectual Property Center日 時: 2014年12月11日(木) 14:50-16:30
会 場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要:

JR東日本は、国鉄改革・会社発足から25年が経過したことや、東日本大震災以降の大きな環境変化等を踏まえ、2012年10月に通算5回目となる経営構想「グループ経営構想V～限りなき前進～」を策定した。

その中で無限の可能性の追求として、次の3テーマに重点をおいた技術開発に取り組んでゆくこととしている。

- ①エネルギー・環境戦略の推進
- ②ICTを活用した業務革新
- ③新幹線の高速化。

これらについて現在の取り組み状況などについて紹介する。

